

LRQA独立保証声明書

日清食品ホールディングス株式会社の 2020 年環境データに関する保証

この保証声明書は、契約に基づいて日清食品ホールディングス株式会社に対して作成されたものである。

保証業務の条件

LRQA は、日清食品ホールディングス株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、コーポレート WEB サイトのサステナビリティページで開示される 2020 年（2020 年 1 月 1 日～2020 年 12 月 31 日）の環境データ（以下、報告書という）に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISAE3000（改訂版）及び GHG 排出量については ISO14064-3:2019 を用いて、限定的保証レベルの独立保証業務を実施した。

LRQA の保証業務は、会社および国内外の連結対象子会社の製造工場及び事業所における運営及び活動に対して、以下の要求事項を対象とする。^{1 2}

- 以下の選択されたデータに対して、会社の定める報告基準への適合性の検証
- 以下の選択された環境データ³の正確性、信頼性の評価
 - Scope 1 及び Scope 2 CO₂ 排出量 [マーケット基準、ロケーション基準] (tCO₂)^{4 5}
 - エネルギー消費量 (MWh)
 - Scope 3 GHG 排出量 カテゴリー1~7、9、11、12 (tCO₂e)⁶
 - 水資源（公共水及び地下水）投入量 (m³)⁷
 - 廃棄物総発生量、食品廃棄物発生量、埋立量、焼却量 (トン)⁷

LRQA の保証業務は、報告書に言及されている上記に明示した以外の組織のサプライヤー、業務委託先、その他第三者のデータおよび情報を除く。

LRQA の責任は、会社に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LRQA は会社以外へのいかなる義務または責任を放棄する。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析、公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

LRQAの意見

LRQA の保証手続の結果、会社が全ての重要な点において、

- 自らの定める基準に従って報告書を作成していない
- 正確で信用できる表 1 及び表 2 に要約される環境データを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。

この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準⁸、及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

¹ 実質的支配をしている味日本、珠海市金海岸永南食品、湖池屋及び Koikeya Vietnam Co., Ltd. が算定対象とする。

² 日清食品の製造工場、物流倉庫（日清エンタープライズ）が工場敷地内にあり、両社の区分が難しい場合は、日清エンタープライズも算定対象として含む。

³ GHG の定量化は固有の不確かさが前提となる。

⁴ 国内外のグループ会社を含む製造工場及び日清食品 HD（東京本社、大阪本社、the WAVE、明星研究所である。

⁵ 非エネルギー起源の温室効果ガス排出は除外されている。営業車及び社用車で使用するガソリン及び軽油は対象外とした。

⁶ GHG Scope 3 排出量のうち、カテゴリー 8、10、13、14 及び 15 は、対象となる活動が組織の事業にないことから対象外とした。

⁷ 会社及び国内外連結対象子会社の製造工場を算定対象とする。

⁸ 限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。



表 1.日清食品ホールディングス株式会社の 2020 年環境データの要約

項目		
CO ₂ 排出量	Scope 1	284 千 tCO ₂
	Scope 2 マーケット基準	178 千 tCO ₂
	Scope 2 ロケーション基準	192 千 tCO ₂
エネルギー消費量		1,996,233 MWh
	うち 非再生可能エネルギー	1,969,750 MWh
	うち 再生可能エネルギー	26,483 MWh
廃棄物発生量		99.0 千トン
	うち 食品廃棄物発生量	58.7 千トン
	うち 埋立量	7.2 千トン
	うち 焼却量	7.0 千トン
水使用量		637.0 万 m ³
	うち 公共水	178.1 万 m ³
	うち 地下水	458.9 万 m ³

表 2.日清食品ホールディングス株式会社の 2020 年 GHG排出量 (Scope3) の要約

カテゴリ	千トン CO ₂ e
1. 購入した製品サービス	2,659
2. 資本財	112
3. Scope 1,2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	80
4. 輸送、配送 (上流)	404
5. 事業から出る廃棄物	26
6. 出張	5
7. 雇用者の通勤	13
8. リース資産 (上流)	対象外
9. 輸送、配送 (下流)	213
10. 販売した製品の加工	対象外
11. 販売した製品の使用	325
12. 販売した製品の廃棄	139
13. リース資産 (下流)	対象外
14. フランチャイズ	対象外
15. 投資	対象外
合計	3,975

注記

1. カテゴリ2,4,5,9,11,12の一部データは2020年度(2020年4月1日~2021年3月31日)を採用
2. 協力会社はカテゴリ1のみを算定
3. 日清食品 HD the WAVE はカテゴリ1~7のみを算定
4. 日清食品 HD 東京本社、大阪本社はカテゴリ1,2,3,6,7のみを算定
5. 営業所(日清食品、明星食品、日清食品冷凍、日清シスコ)はカテゴリ1,2,5,6,7のみを算定
6. 営業所(日清チルド、日清ヨーク、ぼんち)はカテゴリ1,2,6,7のみを算定
7. 海外事業所はカテゴリ2,6,7のみを算定

保証手続

LRQAの保証業務は、ISAE3000(改訂版)とGHGについてはISO14064-3:2019に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

- 報告書内に重大な誤り、記載の脱漏及び誤表記が無いことを確認するための、会社のデータマネジメントシステムを審査した。LRQA は、内部検証を含め、データの取扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューを行った。
- サンプルング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 集計された 2020 年の Scope1~3 GHG 排出量、水資源投入量、及び廃棄物総発生量、並びに記録を検証した。
- 日清エフ・ディ食品株式会社を訪問し、データの収集及び記録管理の実施状況の確認を行うと同時に、敷地範囲において設備及び計器の現場確認を実施した。
- COVID-19 の世界的な感染拡大による、会社の「訪問者の職場への入場制限」の実施により、東日本明星(株)埼玉工場、並びに日清食品ホールディングス株式会社グローバル食品安全研究所に対しての検証は、電子メール、電話、Microsoft Teams を介してリモートで実施した。

観察事項

会社は今後更に報告書における正確性、信頼性を向上することが期待される。

基準、適格性及び独立性

LRQAはISO14065 “温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項”、ISO17024 “適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項—第1部：要求事項”に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準1と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRQAは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRQAが会社に対して実施した業務はこの検証のみであり、それ自体が我々の独立性あるいは中立性を損なうものではない。

署名

2023年6月18日



清水 佐衣子

LRQA主任検証人

LRQAリミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA 10F

LRQAreference: YKA00000666

LRQA, its affiliates and subsidiaries, and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, not to be held responsible for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant LRQA entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.

The English version of this Assurance Statement is the only valid version. LRQA assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © LRQA, 2022